気の向くままに…　～英語で表現コーナー～　vol.1

Today's Mission

①ある日の暮方の事である。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。

②広い門の下には、この男のほかに誰もいない。ただ、所々丹塗の剥げた、大きな円柱に、蟋蟀が一匹とまっている。羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

（芥川龍之介『羅生門』より）

1年生の時の国語総合で学んだ「羅生門」。懐かしく思う人もいるのでは…？今の皆さんであれば、①・②を英語で表現することは十分可能です！ぜひチャレンジしてみてください。チャレンジした英訳を見てほしい、という人は、下記の宛先まで送ってください。★今回は、一人の下人は「a man」とすればよいこととします。

徒然なるままに…

家で過ごす時間が増えていると思います。「リフレッシュしたい…！」「気持ちをリラックスさせたい…！」いろいろな思いが駆け巡ることがあるのではないでしょうか？

私は最近、自宅周辺をジョギングしています（3 密を避けつつ、運動）。また、家の中でリラックスする時間を必ず用意するようにしています。その時に「自然音」を流しながらリラックスしています。小鳥のさえずり、小川の音、小雨の音、たき火の音 … 目をつむれば、ホッと心が落ち着いてきます。気が向けば、自然音に耳を傾けてみてはどうでしょうか？

気の向くままに…　～英語で表現コーナー～　vol.2

Today's Mission

私はその友達の名をここにKと呼んでおきます。①私はこのKと小供の時からの仲好（なかよし）でした。小供の時からといえば断らないでも解っているでしょう、二人には同郷の縁故があったのです。Kは真宗の坊さんの子でした。（中略）。②Kは中学にいた頃から、宗教とか哲学とかいうむずかしい問題で、私を困らせました。これは彼の父の感化なのか、または自分の生れた家、すなわち寺という一種特別な建物に属する空気の影響なのか、解りません。ともかくも彼は普通の坊さんよりは遥かに坊さんらしい性格をもっていたように見受けられます。　（夏目漱石『こころ』より）

高校の教科書でもよく取り上げられている名作『こころ』の一部分からの出題です。「~の時から…」「～を困らせる」… どんな表現が思い浮かぶかな？自分が作った英語を投稿したい人は、下記のアドレスまで！

早速、力作を届けてくれた生徒がいました！

徒然なるままに…

36 回生の先生方も HP を更新されていますが、その中に家庭科の「料理」に関するチャレンジ課題がありました。私もこの機会を利用してチャレンジしました。この料理は初めての挑戦でしたので、うまくいけるか不安はありましたが、まずは実践！また 1 つ、新たな試みに取り組むことができ、充実感を得られました。あわせて、新たなことに挑戦することの大切さ、面白さも改めて感じることができました。

（材料）

（肉の上にも沢山キャベツ！）

（火の通りも確認）

（しょうがポン酢で食す）

気の向くままに…　～英語で表現コーナー～　vol.3

Today's Mission

第一夜

①こんな夢を見た。

②腕組みをして枕元に座っていると、あお向きに寝た女が、静かな声でもう死にますと言う。女は長い髪を枕に敷いて、輪郭の柔らかなうりざね顔をその中に横たえている。真っ白な頬の底に温かい血の色がほどよく差して、唇の色はむろん赤い。到底死にそうには見えない。（中略）。自分は、いつ会いに来るかねときいた。「日が出るでしょう。それから日が沈むでしょう。それからまた出るでしょう、そうしてまた沈むでしょう。― 赤い日が東から西へ、東から西へ落ちてゆくうちに、― ③あなた、待っていられますか？」自分は黙ってうなずいた。　（夏目漱石『夢十夜』）

夏目漱石第２弾。ある先生から紹介していただき、今回の題材にしました（ご協力ありがとうございました！）。文章の始まりが特徴的なこの作品。タイトルにある通り、「一夜」から「十夜」まで物語があります。気になる人は、読んでみてください。自分が作った英語を投稿したい人は、下記のアドレスまで！休校中課題や＋αで取り組んでいる学習の質問でも OK です。

徒然なるままに…

メール、ライン、ツイッターなど、さまざまなメディアや SNS が発展する中、“文字を書く”という習慣が段々と少なくなってきたように感じる今日この頃。確かに、直接書くよりも手軽で時間もかかりません。

特に、“手紙を書く”という機会はかなり減っているのでは…？私は、手紙を大切にしています。手紙を読むと、その人自身が書いた文字を通して、より想いが伝わってくるように感じます。私自身も、手紙を書くときは１文字１文字に私なりの想いを込めて書くようにしています。会話とはまた違った、生きたコミュニケーションを味わうことができる瞬間。“手紙”という文化に、思いをはせてみませんか？

気の向くままに…　～英語で表現コーナー～　vol.4

Today's Mission

①「しのぶれど　色に出でにけり　我が恋は　ものや思ふと　人の問ふまで」（平兼盛）

（人に知られないように秘めてきたけれど、ついに表情に出てしまったことだなぁ、私の恋は。「何かもの思いをしているのですか」と人に尋ねられるまでに）

②「宵の月　いと美しけれど　え届かず　されば臥し入り　月を楽しまむ」（3-1 担任　学生時代に作成）

（今夜の月は本当に美しいなぁ。でも、人間の手には届かない。なので、横になって月の美しさを堪能しよう）

１年生の１月に百人一首大会が行われました。覚えていますか？
とても白熱した戦いが展開されていましたね。今回は百人一首からの出題です。①の歌は、ある先生より推薦をいただいた一首です。
②は、私が学生時代の時に友人たちと SNS 上でやり取りをする中で、試し読みした歌になります（一部加筆・修正）。ちょうど月がものすごくはっきりと見えた夜だったので、今でも覚えています。自作の歌を振り返ってみたり、ほかの方にチェックしてもらったりする中で、語の選び方や表現の仕方など、歌の奥深さを感じるとともに、当時の人たちが即興で歌を作っていたことを考えると、改めてそのすごさを感じました。

自分が作った英語を投稿したい人は、下記のアドレスまで！
休校中課題や＋αで取り組んでいる学習の質問でも OK です。

徒然なるままに…

学生の頃、**“涙活”**というものを時々行っていました。今でも、時々しています。**“涙活”**とは、何かに感動したり、共感したりして涙を流すという活動のことで、気分がスッキリしたり、ストレスが軽減したりと、プラスの効果が多いようです。実際、私もそのような実感を持ちました。ちなみに、悔しくて流す涙や、辛くて流す涙とは違うとのことですよ。題材やジャンルは人それぞれですが、皆さんはどのような作品がおすすめですか？小説、ドラマ、漫画、アニメ … 「こんなおすすめがあるよ！」という方は、休校明けにぜひ教えてください。

気の向くままに… ～英語で表現コーナー～ vol.5

Today’s Mission

隴西の李徴は博学才穎、天宝の末年、若くして名を虎榜に連ね、ついで江南尉に補せられたが、性、狷介、自ら恃むところ頗る厚く、賤吏に甘んずるを潔しとしなかった。(中略)。一方、これは、己の詩業に半ば絶望したためでもある。曾ての同輩は既に遥か高位に進み、彼が昔、鈍物として歯牙にもかけなかったその連中の下命を拝さねばならぬことが、往年の儁才李徴の自尊心を如何に傷けたかは、想像に難くない。彼は快々として楽しまず、狂悖の性は愈々抑え難くなった。一年の後、公用で旅に出、汝水のほとりに宿った時、遂に発狂した。或夜半、急に顔色を変えて寝床から起上ると、何か訳の分らぬことを叫びつつそのまま下にとび下りて、闇の中へ駈出した。①彼は二度と戻って来なかった。附近の山野を捜索しても、何の手掛りもない。②その後李徴がどうなったかを知る者は、誰もなかった。
（中島敦『山月記』より）

私が学生のとき、授業で扱われた作品からの出題です。内容は今でも覚えています。人間の心情を踏まえて読んでみると、より味わい深く読むことができるかもしれませんよ。

自分が作った英語を投稿したい人は、下記のアドレスまで！

休校中課題や＋αで取り組んでいる学習の質問でも OK です。

徒然なるままに…

皆さんは本屋によく立ち寄りますか？私は本屋が好きです。現在は以前のように通うのは難しいですが、現状が落ち着いたら再び通いたいと考えています。本屋というのは不思議な空間なものです。興味があるなしに関わらず、ふと手に取って読んでしまう自分がいます。タイトルに心惹かれたのだろうか。これはどんな内容なのだろうか、と気になってしまったのだろうか。まるで本が自分に“読んでみてよ”と語りかけている様です。そして読んでみると、いつの間にやらその世界に入り浸ってしまうことが多いのです。小説、エッセイ、自己啓発、料理本、旅行雑誌、資格試験、大学の専門書（文学史、歴史、心理学、経済学、物理、数学、……）、サブカルチャー等。その場で読めないものは購入してじっくりと読みます。

ジャンルは様々ですが、こういう本との出逢いは貴重なものだと思います。“こういう考え方（表現の仕方）があるのか”“見やすいレイアウトだなぁ。どうやって編集するのだろう”“学問の世界はこんなに広く、奥深いんだなぁ”… たくさんの気付きが得られます。大学の専門書に至っては、専門外の学問の内容の理解は到底及びません。でも“こんな分野があること、初めて知った！”“いろいろな学問の発達があるからこそ、今があるんだろうなぁ”など、改めて感じることができます。(直近では、水道工学という分野を知りました。)

とりとめのない文章になってしまいましたが、本は人生を豊かにしてくれる存在である、ということはおそらく間違いないのではないかな、と思う次第です。次は、どんな本との出逢いがあるのでしょうか。

気の向くままに…　～特集版徒然なるままに…～　vol.6（Today's Mission は、今回は休載です）

徒然なるままに…

先日、学年主任の鈴木先生がランニングを題材として、スモールステップの目標設定についての記事を更新されました。学年集会でも、“挑戦することの大切さ”“長期的な目標と短期的な目標の設定”についてふれたことが繰り返しありましたね。このテーマは私自身、昔から大切にしていることでもあり、SHR 等、クラスでもいろいろな機会を利用してお伝えしていることでもあります。

昨年から、私は新たなジャンルに挑戦中です。それはまさに、ランニングです。昨年の 9 月から、とあることがきっかけで室内ランニングを始めました。もともと持久走が大の苦手であった私は、最初はものの数分走っただけでかなりの疲労を覚え、“走り続けるなんて無理…”と思ったものです（小学校のマラソン大会、中学高校の持久走は大変でした！）。そこで、自分なりの目標をたてました。“2km でいいから走り切ってみよう”“ペースは遅くても構わない。まずは 30 分走り切ってみよう”。距離は短いですし、ペース設定も遅いです。しかし、まずは小さなことでも達成してみようと、少しずつ継続して走ってみることにしました。（鈴木先生が書かれていた通り、私にも“走らなくてもいいのでは…？”という弱い自分に遭遇したこともありました）

すると、km 数、ペースが僅かずつではありましたが、成長の兆しが…！3km, 4km にも徐々に慣れてきたのです。

年が明けてしばらくして、室内ランニングから外のランニングに切り替え始めました（スポーツクラブは休会中。終息したら、再開したいですね。）。走るコースは静かで雰囲気も落ち着きます。ただ、外で走ると体力の消耗の感じ方がまた変わり、これも慣れるのにちょっと時間がかかりました。しかし、まさに継続は力なり、でした。ある時期に、外で走った記録を継続して記録した結果を載せます（ランニングの休息日を設けつつ行っています）。

記　録	距　離	ペース	持続時間
1 回目	4.87km	06:40 分/km	32:29
2 回目	10.14km	07:00 分/km	1:10:58
3 回目	4.91km	06:49 分/km	33:27
4 回目	5.79km	06:39 分/km	38:33
5 回目	7.25km	06:45 分/km	48:54
6 回目	5.08km	06:35 分/km	33:30
7 回目	2.94km	06:03 分/km	17:47

まず、2 回目ですが、生まれてから今までに、10km という距離をそもそも走ったことは一度もありませんでした。しかし、持久走が大の苦手であった私が、コツコツと続けることで、10km という目標を、いつの間にか達成できていました。ペースは決して優れたものではないと思いますが、このときは本当に嬉しかったですね。

また、7 回目ですが、ランニングを始めた当初は、この約 3km という距離が無限に感じ、ペースもそれこそかなり遅かったです。しかし、現在は 3km を 5 分台にのせる一歩手前まで来ることができました。これも、標準的な記録から見ると驚くようなものではないと思います。ただ、自分の過去と比較したとき、本当に苦手なことでも、継続すれば少しずつ前に進めるんだなという確かな経験を得られたことに、私はこの上ない喜びと達成感を覚えました。

少しずつ目標を設定して、（時には失敗も経験しつつ）確実に達成する。この繰り返しが、やがて大きな目標を達成させてくれる“支え”と“自信”になるのだと思います。

気の向くままに…　～英語で表現コーナー～　vol.7

Today's Mission

①今は昔、比叡(ひえ)の山に児(ちご)ありけり。僧たち、宵のつれづれに、「②いざ、かいもちひせむ」と言ひけるを、この児、心よせに聞きけり。さりとて、し出ださむを待ちて寝ざらむも、わろかりなむと思ひて、片方に寄りて、寝たるよしにて、出で来るを待ちけるに、すでにし出だしたるさまにてひしめき合ひたり。

（宇治拾遺物語『児のそら寝』）

懐かしの作品ではないでしょうか？古文風の文章を英語に直す問題は、実は実際の入試問題でもありました。①、②は英語に直すとどのように表現できるでしょう？

自分が作った英語を投稿したい人は、下記のアドレスまで！

休校期間中の質問も受け付けています。

徒然なるままに…

以前、“徒然なるままに…”のコーナーで、手紙について書いたことがありましたね。手紙を書いていると、ふと「あれ、この漢字はどう書くんだったっけ…？」という、いわゆる“ド忘れ現象”に見舞われることがあります。辞書を引いて、「そうそう、こう書くんだった」と、めでたく解決をするわけですが、皆さんはいかがですか？

漢字（文字、言葉もそうなんですが）は不思議なもので、「この漢字でこの読み方を表すんだ」「この漢字でこういう意味を表すんだ」というのが、なぜだか自然と納得してしまうんですね。“そうそう、それっぽい”と思ってしまう。「富士山」と書かれていて、「これは“こうやさん”と読む」とは思わないですね。仮に、「富士山＝こうやさん」が正しいという世界があったとしても、かなりの違和感を覚えてしまいます（うーん、もっと正しい“音”があるのではないか…と）

漢字の成り立ちは奥が深そうですし、それが人に定着するときにどのような仕組みが働いているのか。興味がそそられるところです。（またまた、とりとめのない文章になってしまいました汗　徒然なるままに。）

ちなみに、懐かしの思い出ですが、過去に漢字ミュージアムを訪れたことがあります（京都）。そこでいろいろな展示物を見たのですが、“漢字を覚えやすくする”工夫を凝らしたコーナーがありました。なるほど、複雑な漢字もこれなら覚えやすい…！一種の感動を覚えました。英語に限らず、覚えやすくする（理解しやすくする）方法は、まさに千差万別！皆さんが持っている、自慢の工夫があれば、また共有しましょう。

気の向くままに…　～英語で表現コーナー～　vol.8

Today's Mission

①皆さんは本屋によく立ち寄りますか？私は本屋が好きです。現在は以前のように通うのは難しいですが、現状が落ち着いたら再び通いたいと考えています。本屋というのは不思議な空間なものです。②興味があるなしに関わらず、ふと手に取って読んでしまう自分がいます。タイトルに心惹かれたのだろうか。これはどんな内容なのだろうか、と気になってしまったのだろうか。まるで本が自分に“読んでみてよ”と語りかけている様です。そして読んでみると、いつの間にやらその世界に入り浸ってしまうことが多いのです。小説、エッセイ、自己啓発、料理本、旅行雑誌、資格試験、大学の専門書（文学史、歴史、心理学、経済学、物理、数学、……）、サブカルチャー等。その場で読めないものは購入してじっくりと読みます。

ジャンルは様々ですが、こういう本との出逢いは貴重なものだと思います。“こういう考え方（表現の仕方）があるのか”“見やすいレイアウトだなぁ。どうやって編集するのだろう”“学問の世界はこんなに広く、奥深いんだなぁ”… たくさんの気付きが得られます。大学の専門書に至っては、専門外の学問の内容の理解は到底及びません。でも“こんな分野があること、初めて知った！”“いろいろな学問の発達があるからこそ、今があるんだろうなぁ”など、改めて感じることができます。（直近では、水道工学という分野を知りました。）

とりとめのない文章になってしまいましたが、③本は人生を豊かにしてくれる存在である、ということはおそらく間違いないのではないかな、と思う次第です。次は、どんな本との出逢いがあるのでしょうか。

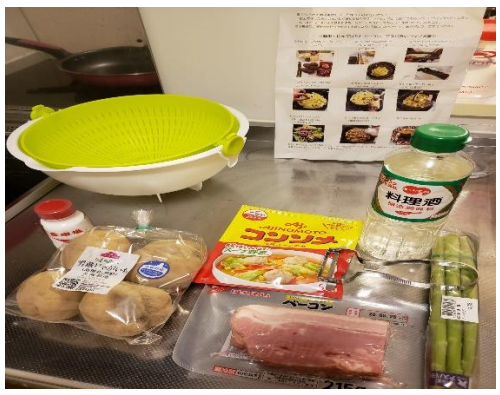
（3-1 担任『徒然なるままに…vol. 5』）

今回は『徒然なるままに…vol.5』からの出題です。下線部がひかれている個所、実はすでに皆さんの実力であれば英語で表現できる内容です。実践英語をとっている人は特にチャレンジしてもらいたいですね。

答えの投稿は、下記のアドレスまで！休校期間中の課題の質問も受け付け中！

徒然なるままに…

36 回生家庭科課題②に挑戦しました。課題①のときに比べて、工程がやや増えた内容となりましたが、手順に従ってすると、無事完成させることができました。料理をほとんどしない身でしたが、今回のような課題が出されたことで、ちょっとしたきっかけをつかむことができたように思えます。最初の一歩を踏み出すことで、（個人差はあれど）確実に前に進み続けることができる …そんなことを改めて実感した今日この頃。



本日の材料

何とかジャガイモの皮むき完了

「はかま」を処理して、アスパラを切る

ベーコンを切って…

蒸し焼き・加熱をして…

無事完成！

気の向くままに…　～英語で表現コーナー～　vol.9

Today's Mission

メール、ライン、ツイッターなど、さまざまなメディアやSNSが発展する中、“文字を書く”という習慣が段々と少なくなってきたように感じる今日この頃。①確かに、直接書くよりも手軽で時間もかかりません。②特に、“手紙を書く”という機会はかなり減っているのでは…？私は、手紙を大切にしています。手紙を読むと、その人自身が書いた文字を通して、より想いが伝わってくるように感じます。私自身も、手紙を書くときは１文字１文字に私なりの想いを込めて書くようにしています。会話とはまた違った、生きたコミュニケーションを味わうことができる瞬間。“手紙”という文化に、思いをはせてみませんか？

今回は『徒然なるままに…vol.3』からの出題です。今回は“和文和訳”がポイントとなります。主語は…？主語に対する動詞は…？特に下線部②は、できるだけわかりやすい日本語にしてから取り組むとよいでしょう。

答えの投稿は、下記のアドレスまで！休校期間中の課題の質問も受け付け中！

徒然なるままに…

ふと大学生の頃を思い返すときがあります。今回は、大学生活に関することや、それに派生した内容をツラツラと書き残します。

紙面の都合上、本当に極々わずかしか書くことはできませんが、これから向かう先がどのような場所なのか、１つの参考に…。

大学生になると、高校までと比べると、かなり自由度が高まります。自分に必要な授業を自ら選択し、授業の時間割を組んでいきます。授業が連続することもありますが、基本的に授業がない時間（いわゆる“空きコマ”）は自由になります。レポートなどの課題をしたり、図書館を利用して過ごしたり、自宅が近ければ１度自宅に戻ってゆっくりしたり、… 過ごし方はまさに千差万別。長期休暇には、一人旅や友人と旅行するなど、じっくりと観光する機会も持つことも可能になります（長期休業中の集中講義や、実習、実験など、空き具合は所属するところによって変わりますが）。

なるほど、確かに自由度が高く、高校生までの立場から眺めると、羨ましくも思えてくる内容かもしれません。しかし、本当の意味で大学生活を充実させるためには、忘れてはならない心がけと、欠かせないスキルが存在します。私が挙げるとすれば、次の２点です。

①　“自由”には“責任”が伴う　　⇒　“自由”と“自分勝手”は違う。
②　計画性を持って行動するスキル　⇒　感覚的には、高校生よりも早く時が過ぎ去る。

大学生は、大学生活や余暇の過ごし方、アルバイトなども含め、基本的に自分でスケジュールを組んでいくことがほとんどです。自分で“自由”に決めるということは、自分の決定に“責任”が伴うことを意味します。必要な授業だったのに、見落としていた … 必要なことを次々と先送りにして、目の前の安楽に浸ってしまった … 自分で足を運んで情報を集めておけば … 自分の行動が、直に自分に返ってくる世界です。必要なことを毎回連絡してくれる担任もいません。**連絡事項や必要な情報等、自分でつかんでいかねばならない世界です**。

そのため、計画性を持つことは大切です。時には、無為に過ごすのも悪いことではありません。ずっと分刻み、秒刻みでスケジュールをこなしていくと、流石に疲れますよね。ただ、意味もなく毎日をただただ過ごすだけになってしまうと、大学生活の意義は大きく失われてしまうことでしょう。大学は教育機関である、ということは忘れないでください。

大学生活は、すべてが新しい世界だ、と思うかもしれませんが、実は、大学生活で求められる力、活用できる力は、高校生活までに概ね習得できるものです。課題への取り組み、問題を解決する姿勢、計画的な行動、与えられたことだけではなく、いかに＋αの取り組みができるか … 大学で有意義でスムーズな生活がスタートできるかどうか … 実はすでに問われている真っ只中なのです。

大学に合格することが最終ゴールではありません。また、就職に関しても、就職先に合格することが最終ゴールではありません。希望先に駒を進めたうえで、“今までに培った力を、どう生かして人生を充実化していくのか”さらに言えば、“今までに培った力を活かして、どのように社会貢献をしていくのか”… これが何よりもポイントなのではないでしょうか。そして、それを実現させるには“今の自分”も問われてきます。初めから“結果論（受かったからそれでいい）”を求めず、目の前のやるべきことをしっかりとこなし、各々の＋αに取り組み、１日１日を大切に歩んでいってください。（大学の話の続きは、ＳＨＲやＬＨＲ等で！）

～　進路希望を成就させ、進路先でもそれぞれの輝きが持てるように　～

気の向くままに…　～英語で表現コーナー～　vol.10

Today's Mission

①家で過ごす時間が増えていると思います。「リフレッシュしたい…！」「気持ちをリラックスさせたい…！」いろいろな思いが駆け巡ることがあるのではないでしょうか？

②私は最近、自宅周辺をジョギングしています（3 密を避けつつ、運動）。また、家の中でリラックスする時間を必ず用意するようにしています。その時に「自然音」を流しながらリラックスしています。小鳥のさえずり、小川の音、小雨の音、たき火の音 … 目をつむれば、③ホッと心が落ち着きます。気が向けば、自然音に耳を傾けてみてはどうでしょうか？

今回は『徒然なるままに…vol.1』（記念すべき第 1 号）からの出題です。一見すると簡単な内容に見えますが、省略されている情報を見抜き、わかりやすい英語に直すことが求められます。HP にあがっている“英作文のコツ①～③”も参考にしながら、チャレンジしてみてください。

答えの投稿は、下記のアドレスまで！休校期間中の課題の質問も受け付け中！

徒然なるままに…

大学の試験がどのような内容か、気になったことはありませんか？

高校の定期試験は、学期内に 2 回（学年末は 1 回）実施されるのがよく知られている実施方法です（実力考査【入試レベル等を踏まえたオリジナル問題など】の実施や、定期試験の運用を工夫しているところもあります）。1 回の授業も、50 分が主流ですね。試験の内容も（所によっては記述式、論述式の設問も多々入ってきますが）、一問一答形式や、短めの記述式の問題が比率的には多めに出題されています。

大学はどうでしょうか？学部などによって違いは出てきますが、大学の試験はいわゆる一問一答形式がメインではなく、“自分の考えを論述する”タイプの試験が圧倒的に多いです。理科系も小問集合のようなものではなく、数問大きな問題が用意され、記述をしていくものがほとんどでしょう。

時には、“○○について述べよ”と、わずか 1 行の問題文に対して、90 分かけて論述を完成させていく試験もあります。

記述に慣れていないと、苦戦を強いられることが多いでしょう。また、1 回の授業も 90 分となり、ノート作成も“自分で工夫する”ことが求められます。“これは大事な情報だ”と思うものは、自分で拾い上げ、記録をしていく姿勢が必要です。大学は、高校以上に“自主的に学問に向き合う”場所です。“これは重要だからノートに書いてね”“これ、試験に出るよ”など、甘い情報を期待しないこと。

大学は“研究機関”です。受け身の姿勢では、身につくものは少ないでしょう。しかし、裏を返せば、積極的に身を投じることで、得られる効果は絶大なものになるともいえます。

35 回生投稿窓口・35 回生質問受付窓口 takatsuka2019@gmail.com

（件名に、学年、組、番号、名前、用件を必ず書いて送信。：気の向くままに vol. 0 参照）

（投稿・質問以外のメールは固くお断りします。休校期間が終了次第、本メールは閉鎖します

気の向くままに…　～英語で表現コーナー～　vol.11 へ続く　　**編集　35 回生学年団　3-1 K.M**